

主直日誌

2月22日（木） 天候 〇

主直氏名

【実習内容】

石垣島見聞実習（運動上陸、公設市見学、八重山博物館見学等）

【感想】

本日、外地寄港実習に向けて、石垣島に入港しました。どんよりとした曇り空、海上保安庁の巡視艦が複数停泊している様子から、尖閣諸島での中国との関係が伺えた感じがしました。残念ながら、コバルトブルーの海は見る事が出来ませんでした。午前は運動上陸で、狭い船内生活で鈍った体を動かすため、石垣市内を8km位歩きました。沖縄情緒溢れる街並みを見ながら、丘酔いでフラフラしていました。昼食後、公設市施設を見学に行きました。市場には色とりどりの亜熱帯の魚や肉が多くあり、食文化の違いを少し感じる事が出来ました。石垣牛の肉は魅力的でしたが、魚はシガテラ中毒になりそうな魚ばかりでした。続いて、八重山博物館の見学に行きました。館内には八重山列島で昔から使われている道具などが多く展示されていました。その中には獅子舞や木造の船（サバニ）がありその中に、操業中の活餌管理でナヅミの重さを計測

する際に使っていた棒秤が竿秤という名前で展示されていました。私達が使っていたものが昔の八重島でも使われていたことを知り驚きました。

明日はバス研修があります。なかなか、来られる場所ではないので、見聞を広める機会として1つ1つの研修を無駄にしないように取り組みたいと思います。



石垣島入港